



みやぎのスポーツを楽しくボランティア

SVマンスリーニュース



このニュースはSVのHPでもみられます <http://www.miyagi-sports.net/sv2004/>

2006年8月通算第22号

06年研修会スタート！

6月21日、私たちが活動の拠点としてきた「旧・市民活動サポートセンター」での最後の企画として本年初のスポーツボランティア講座「エコ・レクチャー」を開催しました。昨年度の活動をうけて、スポーツとエコの取組をさらに進歩させるため紙コップやレジ袋の削減についても一緒に学びました。今後については、9月以降「みやぎNPO夢ファンド」の助成をうけて、スポーツのボランティア・リーダーをめざす方々のため、スポーツイベント全体の流れと、活動のコーディネートについて、更に大切なコミュニケーションや、これからの大きな可能性について楽しく考える研修を開催するほか、基本的な知識の講座も開催する予定です、ぜひお楽しみに。



○ たのしい企画がもりたくさん、この秋SVの活動に注目です

もうすぐ秋、忙しかった夏の疲れをいやすお楽しみ企画や、セミナーなどがもりたくさんです。詳細はホームページや郵送でお知らせしますので、気軽にご参加ください。

■ 仙台山形いも煮合戦～山形・仙台と新潟+近隣のボランティアにお声がけ交流する予定です

日時 9月10日(日) 10時現地集合 <車に乗り合わせて行きますので、仙台発は8時過ぎと思います>

場所 山形市 馬見ヶ崎河川敷 会費 2000円

※ 参加申し込みはSV交流担当 小野さんまで emiko-o@kd6.so-net.ne.jp 090-4637-9074

仙台をこよなく愛してくれているオシムの言葉の「木村元彦氏」の講演会を開催します！！

■ 第1回スポーツボランティアセミナー「スポーツボランティア活動をコーディネートしよう!!」

日時 9月24日(日) 13時半～15時半

場所 仙台市青葉体育館 会議室 <地下鉄北仙台駅・JR北仙台駅徒歩5分>

スポーツ・イベントの主催者から、イベント開催までの流れをきき、イベントの前、当日、後のボランティアの関わり方を考え、より楽しく活動できる環境作りをめざします

※ スポーツイベント主催組織とボランティアの意見交換

■ SV2004イブニングセミナー～「オシムの言葉」で注目の木村元彦さんの講演会です

日時 9月24日(日) 16:00～17:30

場所 仙台市青葉体育館 会議室 <地下鉄北仙台駅・JR北仙台駅徒歩5分>

「日本のサッカー事情～支え支えられる人に求めるもの～(仮題)」

講師 木村元彦(きむらゆきひこ)ノンフィクションライター

※ 参加申し込みはSV事務局 泉田まで izumita@dm.mbn.or.jp 090-2360-2641

参加費 500円 <当日会場にてお支払いください・尚SV正会員は無料となります>

■ 秋のごみ処理施設見学会開催～スポーツイベント会場のごみはどこへ

日時 10月6日(金)9:15～15:00

場所 仙台駅東口住宅展示場前集合 ⇒ 松森清掃工場 ⇒ 農業園芸センター ⇒ キリンビール⇒仙台駅

参加 無料 <飲み物・昼食は各自/農業園芸センターレストランもあります>

※ 参加申し込みはSV環境班担当金澤さん fuliesta@hotmail.com 090-2796-9954

トピック ①

SV活動報告(7月)

- 6日(木) イエローブースターズ総会
- 12日(水) FIBA世界バスケット打合せ
- 13日(木) 環境班打合せ
- 29日(土) FIBA世界バスケット打合せ
- 30日(日) 世界バスケット説明会



独自の活動はなかったものの8月の世界バスケットボール選手権の準備に取り組みました



トピック ②

89ERSボランティア募集
06~07年度のせんだい89ERSをサポートするボランティアを募集しています。

- ※ 活動内容 観客案内・エグザポート等
- ※ シーズン中2回以上参加できる方
- ※ 募集期間 第一次 8月末迄
- ※ 募集人数 200名
- ※ 問合せ
0222-51518138
89ERS
ボランティア事務局

続・2006年6月・サッカーの熱い季節

2006 FIFA worldcup in GERMANY 観戦旅行 環境編

KLM オランダ航空を使って、アムステルダム経由ケルンからのドイツに入りました。飛行機の中での飲み物は、日本国内だと紙コップ1回使ってすぐ回収されますが、今回はプラコップでして、勿論1回だけ使って捨てる人もいたけど、同じ飲み物や水の後だと、再利用してる乗客も多かったです。なにせ12時間のフライト、給水がこまめなのでその都度捨ててたら大変なもの。

機内食のうち軽食のお弁当のケースが紙製で、「数独」が印刷されていました(小さな鉛筆も添えられて)。ヨーロッパではかなりはやっている暇つぶしのようで、日本人はなにこれ?という感じが多い中、あちらの方は一所懸命解いていました。弁当箱に「数独」が2つついていて切り取り線から切る、ま、再利用というか、ただでは捨てない工夫の一つではあります。

ドイツのゴミ箱は、3つに分別されるような設置が一般的ービン、紙類、その他。ペットボトルは、買った店に持っていくデポジットを採用しているため、入れるゴミ箱はありませんが、観戦で訪れた外国人はそのしきみを知らずに、ビンのところに捨ててました。捨てる時に「プラ」の分別を必要としないのに、つつい習慣でゴミ箱前に立ち止まって、ナイロン部分を取り去ろうとしてしまい、ご愛嬌。スーパーの袋は当然有料、手ぶらで行くと2~3ユーロの布製バッグか、0.3~0.5ユーロのナイロン袋を買うことに。日本で一般的な「買いましたテープ」はありませんでした。

2006 FIFA worldcup in GERMANY 観戦旅行 食べ物編

飲み物比較 500ml で缶のビール 1.2ユーロ、ペットの水 1.8ユーロ、紙パックの水 1ユーロ。紙パック水はコンビニではあまり置いてないし、当たり外れがある(炭酸入りとか硬水でしょっぱく感じる)。そこで日本で言えば銀河高原ビールレベルの品質のものが2/3程度で買えるので、当然ビールを買ってしまうこととなります。屋台のような店でパンを買えば、日本でいうと肉まんを包み紙程度の薄さ・面積の紙に無造作に包んで、はいってよこされる、これが又大きかったり甘い粉がついてるのにお構いなしで、かなり途方に暮れてしまいます。ほんとと食べ切れる大きさじゃないのですから。屋台のソーセージも、たこ焼きの舟形ケースみたいなのに乗ってきて、余計な包装はしないという意味で環境への配慮は感じられました。スーパーで買う加工食品・生活用品の物価は、平均1.5倍位高めでも、生鮮食品は断然安く、チーズや火腿類は価格が同じ程度でも量が倍位入ってて、なんてたって味がうまい。野菜もとにかく大きい。常設朝市ではさらに山盛りの野菜・果物が並び、検疫さえなければ持ち帰りたかったほど(特に旬の白アスパラガス)。

コンビニ店頭では大抵バナナをバラで量り売りしてくれたり、小ぶりのリンゴが山積みになって0.5ユーロで買えて、歩きながら食べている人をよく見かけました。ただし牛乳だけは、日本のような無調整には出会えず、コーヒー用ポーションのような味にちょっと閉口しました。また、小ぶりの飲料の側面にあらかじめストローがついていることはなく、日本の包装の過剰さ加減が実感できました。

SV交流担当 小野 枝美子

☆ 大学ラグビーボランティア募集

- ※ 日時：10月29日(日) 8:30~16:00 ※ 活動内容：総合受付・ゲート・案内・エコ・その他
- ※ 募集人員：30名 ※ 駐車場は用意しておりますが台数に制限があります
- ※ 参加申し込みはSV事務局 泉田まで izumita@dm.mbn.or.jp 090-2360-2641

◎ SVお問い合わせ先 〒980-0014 仙台市青葉区一番町4-1-3 市民活動サポートセンター SV2004
レターケースNO. 50 (必ずレターケースNOをご記入ください)

住所が変わりました

電話 090-2360-2641 メール izumita@dm.mbn.or.jp